



～図書館は知識の泉～

図書館に1歩足を踏み入れるだけで“知”との出会いがあります。

並んでいる背表紙を眺めるだけで、新しく出た本や雑誌の表紙を見るだけで、そして先生や図書委員が紹介してくれる本を手にとるだけで、自分の知らない間に知性が芽吹いているのです。

今号では3年生の図書委員が学習につながる本の記事を作成しました。“知識の泉”で書棚の整理をしたり本を選んだりしている図書委員からの本の紹介は、学びを求める皆さんの参考になるのではないのでしょうか。(司書)



世界を知る

『13歳からの地政学』

田中孝幸/著 東洋経済新報社

あなたは世界情勢について詳しく知っていますか？ 世界情勢は、難しいと思って目を逸らしていませんか？

世界情勢を学ぶ事によって、なぜ今や過去でこのようなことが起こったかがわかります。また、世界情勢は地理と深く関係しており、世界情勢を学ぶことは地理を知ることにも繋がります。

この本の著者は、世界情勢と地理を関係づけてお話を書き進めています。私達の身近な問題でもある、中国にとっての南シナ海について、核保有の国についてなどがわかりやすく書いてあります。

地理や世界情勢を知りたい人はぜひこの本を読んでみてください！！

(本の内容)

高校生と中学生の兄妹が、アンティークショップのオーナー・通称「カイゾク」との会話を通じて、世界の仕組みや国同士の駆け引きを七日間で学んで行く物語。

【難しそうだなと思う人にはこちらの2冊がおすすめ】

『地図でスッと頭に入る世界の民族と紛争』

祝田秀全/著 昭文社

『図解 世界史で学べ！地政学』

茂木誠/著 祥伝社

こちらの2冊は、イラストや写真などを多く使用しており長い文章を読むのが苦手な人にオススメです！

『地図でスッと頭に入る世界の民族と紛争』では最新の民族事情や民族の起源、民族と国家の関係などを歴史と関連付けて地図やイラストを使って詳しく書かれています。日本人はどこからやってきたのか、ヨーロッパで移民が増え続ける理由などを知ることができます。

『図解 世界史で学べ！地政学』では各国に視点を合わせてその国が抱える問題を歴史と関連付けて紹介しています。国家が現在まで存在し続ける事ができた理由なども詳しく書かれており、その国の強みを知ることができます。

「部活動の本」
展示中！

図書委員おすすめの本

『勉強ができる子は何が違うのか』

榎本博明/著 筑摩書房

(本の内容)

成績の良い子は、自分をやる気にさせる力や忍耐強く物事に取り組む力、感情をコントロールする力などの、非認知能力を身につけている。

さらに、自分をモニターするメタ認知能力にも長けている。これらを鍛えて勉強ができるようになるためのヒントを示す。



この本は「新書」の棚にあります。

「新書」にはこのほかにも学習に役立つ本がたくさんありますよ。(司書)

6月19日開催 エンジン01講演会

講師・東村アキコさん著書のコーナー作りました

東村アキコさんのコーナーにある本

『かくかくしかじか』全5巻 集英社

『まるさんかくしかく』1～4集 小学館

『銀太郎さん頼み申す』1～7巻 集英社

『ママはテンパリスト』1・2巻 集英社

※すべて漫画です(貸出可)